



社会福祉法人 京都杉の木会
京北やまぐにの郷

No.7

2026年
1月発行



や・ま・ぐ・に



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さまには、行事や日々の活動を温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

長く続いた新型コロナウイルス感染症の影響による制限や閉塞感からも、少しずつ日常を取り戻し、昨年は、夏祭りで山国音頭保存会の皆さまと盆踊りを再開できたほか、ご利用者によるハンドベル演奏を地域の方々に聴いていただく多くの機会にも恵まれました。

また、令和10年度に開設予定であるグループホーム、生活介護事業においても地域での説明会を開催させていただき、地域の方々から直接ご意見をいただくことができました。さらに昨年度より義務化された「地域連携推進会議」の中でも、ご利用者、地域の皆さまと意見を交わす中で、改めてご利用者が地域の一員として歩んでいることを実感し、益々地域に拓かれた施設に向けての意義を確信しました。

そして、法人として障害を持った方々に日々の生活がより豊かになるようサービスを高めていかなくはと気持ちを新たにすることもなりました。

本年も、地域の一員として、皆さまとのつながりを大切にしながら、ご利用者と共に元気に歩んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

施設長 平林啓邦



『自閉スペクトラム症って？？？（第7回）』

今回は重度自閉スペクトラム症の方などに表われることがある『強度行動障害』について触れたいと思います♡♡♡

強度行動障害って？

⇒強度行動障害とは、医学的な診断名である「行動障害」とは異なり、本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が高い頻度で起こるため、行政的に特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいいます。

【症状】

激しい自傷行動や他害／物損／異食／多動／号泣／大声／睡眠障害

重度の知的障害（知的発達症）やASD（自閉スペクトラム症）の特性があり、障害の特性と環境のミスマッチがあると強度行動障害の状態になりやすいようです。

特に中学生や高校生という思春期以降に強いこだわりや自傷行動、他傷や破壊行動などが激しくなる場合が多いです。

強度行動障害って治るの？

⇒強度行動障害は状態であり、治すという観点ではなく、環境調整を行い不適応行動を起こさなくてもいい状況を作っていくという考え方が大事です。
本人に合った環境設定などで軽減していくと言われています。

福祉サービスによって強度行動障害がある人の生活全般を支援し、そのうえで検査、薬物療法、入院治療などの医療を組み合わせることがあります。
環境調整などの合理的配慮を行うと同時に支援体制を整え、在宅支援・施設支援での生活を見据えることが大切です。

編集後記

2025年大盛況のミyakuma大阪万博も閉幕し、ハロウィンにクリスマス♪かと思えば、あつという間に2026年に突入です！月日が経つのはホント早いですね。

「京北やまぐにの郷」は35周年記念式典以降、わくわくモードに変化しています！37年の歴史を持つ施設、37年生の利用者さんも職員もいます。

それぞれの年齢や体力に合わせて、「共に感じ、共に汗をかき、共に遊ぶ」スピリットで、この先もいろんな事にチャレンジしていきます。施設の園庭にもワクワクするものがいっぱい隠れていますので、是非見に来てください(^_^)



発行 社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷
〒601-0314
京都市右京区京北大野町菟蒲ヶ回互10-2
TEL : 075-853-0571 FAX : 075-853-0372
URL : <https://yamaguni.jp>
: keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp



昨年の10月28日に、第1回『地域連携推進会議』を開催しました。
地域連携推進会議とは、令和7年度より障害者支援施設・グループホームにおいて、利用者や地域の関係者などの構成員で事業所を見学していただき、意見交換をする機会を設けることが義務付けられた会議です。

これは、施設と地域が連携することにより、地域の方々に向けて施設や利用者への理解促進、サービスの透明性・質の確保 利用者の権利擁護を達成するため設置されました。

第1回となった会議では、各々の自己紹介から始まりました。利用者委員も緊張した面持ちではありましたが、入所歴含めて自己紹介され、生活について尋ねられると、不満はないが前から施設を出たいと思っているとの思いも聞かれました。

生活棟・活動棟を見学された後の感想・ご意見では、施設全体が清潔に保たれているとお褒めの言葉をいただき嬉しく感じました。入浴について、土日がないことやシャワー浴となっていることへの理解はされましたが、再考の余地があると認識しました。

その後、事業計画や今後の展望などお伝えし、有意義な意見交換ができました。構成員の方々に入所支援サービスの実際を見ていただき、利用者の言葉を直に聞き取っていただく機会があることは非常に重要なものであることを再認することができました。



構成員の皆さん



2025/10/07

ご見学ありがとうございました 右京児童民生委員（障がい者部会）様

去る10月7日（火）に右京児童民生委員障がい者部会の皆様が見学にお越し下さいました。コロナ感染症流行以前にも研修の一環として郷を訪れて戴いた方から「綺麗になったね」、「すごく整えられているね」とお褒めの言葉を次々に頂戴しました。以前が汚いって言う訳では無いよ！と笑いながら話して下さる委員のお言葉に恐縮しながら生活場面と日中活動場面に分かれて施設を案内させて頂きました。

利用者さんの穏やかな表情や真剣な眼差しで作業に取り組まれている姿をご覧になられ、清潔な環境と支援の工夫について評価を戴きました。短時間ではありましたが、知的障がいや自閉スペクトラム症についてのお話をさせて頂いて見学会を終えました。このように定期的にお越し下さり、ご意見を頂戴する機会は施設の財産だと感じています。



去る9月19日にご利用者に向けて法人・施設の事業説明会を実施しました。スクリーンに映し出される写真や文字を真剣なまなざしで見ながら、法人の理念や事業計画の説明、日中活動のこと、そして支援者が大切にする支援の柱をお伝えさせていただきました。

ハンドベル隊活動報告！



山国地区敬老会にて

20数年前に立ち上げたハンドベル隊。月日が経つにつれ、自然消滅しかけていました。

今回、思い切ってハンドベル隊の本格復活を目指し、11人の利用者さんが立ち上がりました。京北やまぐにの郷の利用者さんの前で腕試しを皮切りに黒田のさくらサロン、そして山国地区の敬老会と演奏の機会を頂戴しました。敬老会での様子では緞帳が開くと想像の何倍もの大勢の皆さんとまぶしいライトに手が震えるほどの緊張。長い間一緒に過ごしていますが初めてみる表情でした。3曲でしたが、必死の演奏でした。100人を超える皆さんの拍手でとろけそうな表情です。終了後、大満足で集合写真を撮り、今回の表紙を飾っています。舞台を踏むたびに頑張りたいと意欲が増し、上達していくハンドベル隊をこれからもあたたかく見守って頂ければと思います。